

第 16 回 PSLX 技術部会 Adhoc 会議「OASIS PPS-TC F2F meeting (Face-to-Face meeting) 合同」

日時：2007 年 8 月 20 日（月）13：00～18：00

場所：製造科学技術センター（MSTC）第一会議室

出席者（敬称略・順不同）

西岡靖之（PSLX）、和田浩一（PSLX）、松川信也（日立電線）、山本明人（光電製作所）、岡宗秀一（PSLX）、王喜宏（富士電機システムズ）、水谷雅宏（日本ユニシス）、川内晟宏（プロセス経営研究所）、高橋達也（横河電機）、前田智彦（富士通株式）、杉修（書記・PSLX）10 名

配布資料

- [1]PPS Part 1: Core Elements, Version 1.0 Public Review Draft 01 7th August 2007
- [2]PPS Part 2: Transaction Messages, Version 1.0 Public Review Draft 01 7th August 2007
- [3]PPS Part 3: Profile Specifications, Version 1.0 Public Review Draft 01 7th August 2007
- [4]SCF2007 デモシステム開発仕様書 2007/08/20 PPS 内部検討用 製造情報連携フォーラム
- [5]メッセージ一覧
- [6]PPS Ballot Details for CD ballot for public review
- [7]PPS Message（作成予定）2007/08/20
- [8]PSLX 標準仕様バージョン 2 第 5 部:XML スキーマ 記述サンプル（バージョン 2） PPS-Part2-WD13J 対応 2006 年 9 月 4 日 ものづくり APS 推進機構

議事内容

(1) PPS Part 1 英語版の変更と確認

※ 6/31 confirm のスペルミスを確認に修正した

※ 7/31 1.5 Terms and definitions の冒頭の太字は日本語版には存在するが英語版においては削除したとの報告があった

(2) PPS Part 2 英語版の変更と確認

※ 8/41 confirm のスペルミスを確認に修正した.その他のスペルミスも随時修正を行う

※ 現在のキャンセル方法だと 1 つだけのイベントをキャンセルすることはできないとの解説があったが、不便が生じるのではないかとの議論があり、sync にキャンセルを追加することを検討することになった

※ resource を capability に変更してみてもどうかという意見があった

(3) PPS Part 3 英語版の変更と確認

※ 14/29 Figure 3 の色つきの箱はトランザクションなのかとの質問があり、□はトランザクションであるとの説明がホワイトボードを使っておこなわれた。また、□は何を意味するかとの説明を記述したほうがよいとの意見があった

※ schema の順番を説明と合わせて記述することとなった

※ 24/29 Implement Action は 2 つ書けるのかとの質問があり、複数形であれば記述が可能であるとの説明があった

※ 26/29 double を decimal に修正した

(4)SCF2007 デモシステム開発仕様書について

※ MES アプリと MES Server は作業指示や稼働実績を 8/21(火)に繋げてみるとの報告が MESX からあった

(5) その他

次回予定

APSOM/PSLX フォーラム技術部会 日時：平成 19 年 9 月 12 日（水）13:00～18:00

場所：(財) 製造科学技術センター 第 1 会議室（東京都港区虎ノ門 3-11-15 SVAX-TT ビル 3 階）

PSLX 技術部会 Adhoc 会議日時：平成 19 年 10 月 11 日（木）13:00～18:00

場所：(財) 製造科学技術センター 第 1 会議室（東京都港区虎ノ門 3-11-15 SVAX-TT ビル 3 階）